

title. 天地をつなぐ『さすらいのハヤサスラ』～地水火風の旅～

10月31日（金）

小金井宮地楽器ホール 小ホール

JR武蔵小金井駅南口前

～はじめに言葉があった～

この有名な聖書の言葉は、私たちの想像力を掻き立てます。
それは響きわたる音の波＝「宇宙鼓動」と言えるでしょうか。
“響きからいのちが紡がれていく”その神秘に想いを寄せた
即興音楽から、この物語は展開してゆきます。

宇宙鼓動から“いのち”は紡がれ、
根源の言葉から私たちは生まれた。
全身を鼓膜にして聴きとろう。
あめつちをみたますいのちのうたを

あめつちをみたますいのちのうた

～万物の始まりの“響き”は今も私たちの中に～

天地（あめつち）をみたます音響は万物に働きかけ、大地や生き物を創造し、人間の原像をつくりました。その響きは今も私達の中に生きていると言えるでしょう。この公演では芸能の神「ハヤサスラ」の物語を箏演奏によるオイリュトミーと朗誦を核に、映像表現も用いて、地水火風の世界を共に旅していきます。この旅が、私達の中の「本当の自分」に出会うきっかけとなりますように。

（お子様も参加可能な親子向けミニ公演も合わせて開催します。）



2025年10月31日（金）



会場：小金井宮地楽器ホール 小ホール



JR武蔵小金井駅南口前

*主催/制作 ここのはなプロジェクト
<https://koto-no-hana.net/>
*共催 那須・奏身舎 <http://sousinsya.com>
*後援 一般社団法人アウディオベーデ
*問い合わせ:ここのはなプロジェクト
メール info@koto-no-hana.net

*プログラム

*時間
*参加費

*両公演通し

◆親子向けミニ公演
「響きあう音といのち」

17:00～17:30（開場15分前）
大人1000円/子ども500円
3歳～、大人のみ参加可

大人 予約4000円 中高大学生 予約1500円
各公演 当日500円増し

◆本公演
「さすらいのハヤサスラ」

19:00～20:45（開場30分前）
大人 3500円/中高大学生1000円
静かに鑑賞できる年齢



申し込み

<https://koto-no-hana.peatix.com>



・ここのはなプロジェクト



・親子向けミニ公演



・本公演（ワークショップ + 公演）



物語 天地をつなぐ「さすらいのハヤサスラ」～地水火風の旅～

ことのはなプロジェクトは「本当の自分を生きる」をテーマにオイリュトミーと箏のコラボ作品を創作、映像化し、未来に伝えるプロジェクトです。第2部の公演「さすらいのハヤサスラが、地水火風を旅し天地をつなぐ」という物語を参加者が鑑賞するだけでなく「体験（身体）」を通し、心で深く「感じられる」よう、第1部ではワークショップ形式を取り入れています。サスラが最後に行き着くところは、根の国、底の国と呼ばれる暗く硬い「土＝地」の世界でした。実は私たち「地球（地の球）」に住みいのちの旅の途上にあります。地球を旅する私たちは、どんな果実を未来に結ぼうとしているのでしょうか。

小さな「いのち」の種から、葉が育ち、花咲き、未来に実を結ぶように・・・

小さな「わたし」の中にも、未来に花ひらく、大きな可能性が眠っています。

それは音・色・形、心の「ひびき」で咲き開く、かけがえのない「自分だけの花」

本公演を通してサスラと一緒に心の旅路に出て、「自分だけの花」に出会っていただけたら幸いです。

ことのはなプロジェクト《オイリュトミー / 萌黄 × 二十五絃箏 / 瑠璃 × 映像 / 琥珀》

● 萌黄（渋谷智栄子）オイリュトミー

「オイリュトミー」で根源の言葉を取り戻し、今を生きる力を創造する。」



木彫制作からオイリュトミーへ。幼児から大人、ハンディを持つ人々に指導。歌、音を基盤にした指導で、困難を抱く人々の心の扉を開く。声優、音楽家とのコラボなど音と言葉の接点を追求。おひさまの丘宮城シュタイナー学園教員養成講座コースリーダー。奏身舎代表。

● 瑠璃（小澤千絵子）二十五絃箏

「古来より天地を繋ぐ役割を与えられてきた「箏」で、現代も天地を繋ぐ。」



幼少より箏を学び、二十五絃箏との出会いをきっかけに箏の道へ。シュタイナーの音楽論を竹田喜代子のもとで学ぶ。日本アントロポソフィ音楽療法研修コースSonne日本音楽担当講師。箏曲三上社大師範。箏、二十五絃箏、三絃等を教えている。

● 琥珀（近清武）映像

「映像」でしか表現できないリアリティで現実世界を拓く。」



日本科学未来館シニアスペシャリストを経て現在は科学教育向け映像や展示の企画開発。主な作品は、TOTOギャラリー・間「伊東豊雄展」のVR展示、短編アニメ「COSMOS-光との約束-」、(株)マイクロミュージアムラボラトリー代表。

～推薦の言葉～

＊六月の那須・奏身舎での公演に参加し、地球、宇宙、世界があることの不思議と奇跡に改めて感動しました。普段当たり前のようになっていることの背景に潜む、見えない神秘、根源の言葉を体験したことで、芸術家としても大いに刺激を受け、創作意欲が湧いてきました。東京での公演も楽しみです。

絵画造形療法士 ヴィジオペーデ主宰 吉澤明子

＊森羅万象のすべてに「動きと響き」は存在しています。「響きの楽器」は古来から祈りとともに伝えられ、現在では療法にも使われていますが、今回の公演では芸術として用いられ、オイリュトミー、箏と共に、新しく未来の芸術としての役割を与えられたことに喜びと希望を感じています。

音楽療法士 アウディオオペーデ主宰 竹田喜代子

10/31(金) 小金井宮地楽器ホール 小ホール

< 公演プログラム >

◆ 親子向けミニ公演 17:00～17:30 「響きあう音といのち」

＊大人の1人参加も可 ＊映像はありません

- I 小さな音楽会 箏・笛・グロッケン他 ①笛と箏のお喋り ②祭りの踊り ③宇宙の響きと祈り
- II お箏の体験 (先着12名様まで)
- III 鑑賞お箏でのオイリュトミー 吉松隆 作曲「すばるの七ツ」より『水』

ことのはなアンサンブル



◆ 本公演 19:00～20:45 天地をつなぐ「さすらいのハヤサスラ」～地水火風の旅～

第1部 “箏”を用いた 声と響きのワークショップ

①序 「あめつちをみたすいのちのうた」ことのはなアンサンブル ②母なる声と父なる声、地水火風と和歌 ③TAOのオイリュトミー

第2部 公演『さすらいのハヤサスラ』～地水火風の旅～

① 序 即興音楽「宇宙鼓動」 箏/ 響きの楽器 (シュターベ、ゴング、タムタム) / 母音の歌 ②TAO (シンバル) ③サスラのうた

④『さすらいのハヤサスラ』～地水火風の旅～ ＊使用楽曲 長澤勝俊 作曲「錦木に寄せて」
吉松隆 作曲「すばるの七ツ」

1. 風 2. 火 3. 水 (映像作品上映) 4. 土 (背景映像付き)

第3部 ことのはなトークセッション 「芸術表現と人生の果実」～本当の自分を生きるとは～



「オイリュトミー」について

音と言葉の生命形成力を動く身体芸術。1911年シュタイナーによって創られ、「頭・心・体」まるごと用いて調和をもたらすことから、世界各地で教育や治療においても取り入れられている。

「二十五絃箏」について

伝統和楽器である十三絃の箏の可能性を広げるものとして1991年に箏曲家、二代目野坂操寿によって作られた新しい箏。より根源的で時代を超えた表現力を持つ。